

くつろぎたいは

第35号 (2011年 冬号)

松江赤十字病院広報誌

■病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

謹賀新年

院長 秦 公平



明けましておめでとうございます。今年はいよいよでありますように。

昨年は高層棟が完成し、3月に病棟、救命救急センター、放射線診断・治療室、検査室などが移転いたしました。その後10階建ての「新館」を取り壊し、そこは現在は更地になっております。ここへ6階建ての外來、事務管理棟を平成24年春頃完成予定で建てることになっておりますが、その後には今外來を行っている「本館」を取り壊し、完全竣工は25年度になります。さて、よい話ばかりではありません。

昨年、循環器内科が広島大学から島根大学へ、整形外科が京都大学から島根大学へと派遣大学が変わりました。何とか同じ人数の医師を確保することができ、診療機能を維持できていますが、島根県内の医師不足はまだ解消されておらず、当院のその他の科も今後どういふことになるのか、予断を許さない状況であります。

医師が不足しますとその科は同じ力量を保てなくなり、今までと同様に患者さんを受け入れることができなくなりそうです。医師が減った時には残る

医師の負担が増え、その疲労度などを考えますと、外來を制限することを考慮しなくてはならなくなるかもしれない。入院治療が必要な患者さんではあるだけ受け入れなければならないかもしれませんし、救急をやめてしまうことにはこの地域では道義的にも許されなないことと思っております。

患者さんや家族の方々にも、病院へのかかり方を考え直していただく必要が出てくるでしょう。できるだけ「かかりつけ医」を作ってもらい、真の救急以外は「かかりつけ医」を受診し、必要であれば紹介状をお持ちになって当院を予約受診していただきたいと思っております。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

病棟紹介 9階東病棟

私たちが9階東病棟の紹介をします。

9階東病棟は主に血液内科の病棟です。

血液内科は、その疾患と治療の関係から免疫力が低下していることが多く、

私たちは感染予防に力を入れていきます。

病棟の構造も幹細胞移植に使う無菌室がつくられています。そのほか空調

に特殊フィルターを設置したり、陽圧を清浄化している

部屋があり、廊下

の一部は一般の方の通行を制限して、

雑菌の侵入を防いでいます。そのため

面会に来られた方には遠回りをし

ていただくなど不自由をおかけして

います。申し訳ありません。また、

医師、看護師、薬剤師といったスタッフは常時マスクを装着しています。顔

がしっかりと見えにくいという欠点はありませんが、じっくりとお付き合いを

させていただく間に少しずつ覚えていただいているようです。患者さんにも

感染予防を頑張っていたでいます。歯科とも協力し、口内のメンテナンス

を行っています。

治療の関係で

食欲が落ちてしま

まうことがしばしば

あるのです

が、医療スタッフが

で相談し、吐き気などの症状緩和に

努め、栄養課と連携を取

つて食事の工夫をしてい

ます。なかなか難しい問

題ではありますが、少し

でもおいしく栄養をとっ

ていただけたらと考えて

います。

毎日のようにある化学

療法と輸血療法を、安全

に、より安楽に受けるこ

とができるように努めて

いきたいと考えています。

近年は血液内科病棟で

も高齢の方が増え、全身的なケアが

必要になってきています。また退院し

てからご本人やご家族が困られないよ

うに準備が必要になってきます。当病

棟でも医療社会事業部と協力して準

備を進めています。お困りのことがあ

りましたら、ひとまずなんでもご相談

くださいませ。



がん患者と家族の会

くつろぎサロン

タオル帽子を作りまじろ

『タオル帽子』は、針と

糸とタオルがあれば簡単

に作れる帽子で、NPO

法人『岩手ホスピスの会』

から、脱毛に苦しむ方の

支援へ提案され広まった

ものです。以前、今回の

講師 秦 美香さんが作ら

れたタオル帽子を患者さんにご利用いただき、とても喜んで

いただいたことがありました。そこで患者さんやご家族の方々

の支援の形を広げたいと思い、秦さんにご協力をいただき講

習会を開催しました。

くつろぎサロンでの帽子作りは大盛況、作り方は簡単で、

型紙に合わせて切って、お裁縫。がん治療中の方など多くのご

参加を得て、針を持つのは家庭科の授業以来という人も、男

性も、講師の指導を受けたら参加者同士で教えあったりしな

がら和気あいあいと楽しく、1時間ほどで素敵な帽子の完成

となりました。

みんなで作った帽子や、秦

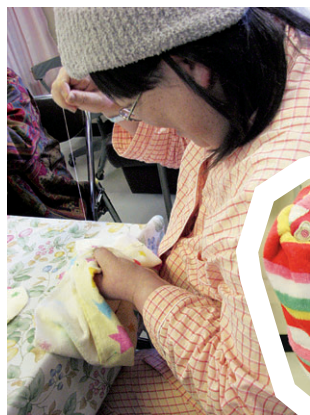
さんよりご寄贈いただいた帽

子が必要な方にお使いいただ

ければと思います。帽子や帽

子の作り方をご希望の方は、

下記のとおりご連絡ください。



★がん患者・家族の癒しと交流、情報交換の場

「くつろぎサロン」 毎週水曜(第2は女性のみ)14時~16時
本館1階 旧人間ドック控え室で開催

★がん相談支援センター 0852-32-7022

日常生活の中で小さな症状や前兆に気づき、
自分の体に関心を持つことは大切。

大きな病気のサインの場合もあり、早期治療にもつながります。

「ドクター教えて からだ相談室」では、

当院の医師が、病気や対処法についてアドバイスします。

相談

1カ月ほど前から、食べた物が胸につかえるような感覚がありました。最近では食事の度に感じるようになり、食後の胸焼けも重くなってきました。食べ過ぎないように気をつけているのに起こるので心配です。(65歳、男性)

アドバイス

胸のつかえや胸焼けは、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

は、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

は、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

ドクター教えて からだ相談室

①

今回のドクター



松江赤十字病院
消化器内科
藤沢智雄 副部長

な症状であるほか、重い病気で、食道がんや甲状腺腫瘍(しゅよう)、

な症状であるほか、重い病気で、食道がんや甲状腺腫瘍(しゅよう)、

な症状であるほか、重い病気で、食道がんや甲状腺腫瘍(しゅよう)、

な症状であるほか、重い病気で、食道がんや甲状腺腫瘍(しゅよう)、

な症状であるほか、重い病気で、食道がんや甲状腺腫瘍(しゅよう)、

食後の胸焼け

逆流性食道炎の代表症状

アドバイス

胸のつかえや胸焼けは、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

は、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

は、いろいろな病気によって起こります。近年、よく知られるようになった逆流性食道炎の代表的

リンパ節の肥大によって胸のつかえ感を生じることがあります。このような症状を訴えて受診される人の中で多いのが逆流性食道炎です。胃と食道を分ける部

11~2011月

introduce

採用医師紹介

Hello Doctors



小児科 和田 啓介

11月から小児科採用となりました和田啓介です。赤ちゃんや子供達みんなが、健やかに育っていけるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



救急部 児玉 祐加子

2010年12月から、松江赤十字病院 救急部に赴任してきました児玉祐加子と申します。松江市の救急医療に少しでも貢献できるように頑張っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。



集中治療科 飯塚 悠祐

1月よりこの美しく歴史ある松江で働くことになりました。麻酔科、集中治療科で精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



柔らかな光と歌声が患者さんに届きました

小児科病棟 市場 美紗
NICU 安部 亜沙美

私たちは、今年初めてクリスマスキャンドルサービスに参加しました。入院患者さん方ほどのような反応をされるのか喜んでいただけるとも緊張していました。本番当日、キャンドルサービスが始まると入院患者さんが病室の前に出てくださっていました。笑顔で見てくださる方、一緒に歌を口ずさんでくださる方、手拍子をしてくださる方...など入院患者さんだけでなく、面会に来ておられる家族の方など大勢の方々が楽しんでくださっていました。入院患者さんにとって少しでも楽しい時間を過ごしてもらえたのではないかと思います。クリスマスキャンドルサービスに参加し、患者さんの笑顔を見ることができて本当によかったと思います。来年もまた参加したいです。



新病院高層棟で初のクリスマスキャンドルサービス

毎年クリスマス時期に実施しているクリスマスキャンドルサービス。今回は職員有志約60名が「きよしこの夜」などのクリスマスソングを歌いながら、キャンドルを手に練り歩きました。昨年3月にオープンした新病院高層棟では初めての開催で、入院患者さんからは「メリクリスマス」と歓声が上がったり、中には涙を流している方もいらっしゃいました。

リハビリクリスマス会



リハビリ病棟、リハビリテーション課合同でクリスマス会を開催しました。

当日は、病院外部からバンドを招いての演奏会、玉入れゲーム、サンタクロースからのクリスマスプレゼントなど盛りだくさん。演奏会では懐かしいの曲で涙を流される方もいらつしやう、また、ゲームやプレゼントの時間などは笑いが絶えず、参加した患者さん、スタッフとも楽しく心暖まるひと時を過ごすことができました。

参加された患者さんが笑顔で帰って行かれる姿、とても印象的でした。

小児センターでクリスマスプレゼント



小児病棟では毎年クリスマスの時期に入院中の子どもたちへプレゼントを贈っています。今年は12名の子どもたちへ、小さい子はアンパンマンのおもちややお菓子セット、中学生など大きい子はお菓子が詰まった長靴といったプレゼントを贈りました。




小児科の医師らが扮したサンタクロースとトナカイが病室を訪問すると、笑顔がこぼれる子、照れてはにかむ子、突然なことにビックリする子など、いろいろな表情を見せてくれました。

外来糖尿病教室 「おせち料理」

毎年12月は恒例の調理実習を開催しています。会場は山陰中央新報ビルの料理教室会場をお借りして、30人ほどで、わいわい「おせち料理」に健康に関するお話を聞きました。

今回は柚子釜、花人参、イカの松笠、花れんこん、菊花蕪など切り方の工夫で定番おせちが豪華になりました。また、低力ローリー甘味料を使用した「かとう豆」「きんかん」や揚げない「きんこん」など、調味の工夫で低力ローリーに仕上げました。当日のイベントとして、奥野将徳調理師による『鯛の解体ショー』があり、新鮮な刺身と幽庵焼きを楽しみました。後日、自宅でも作って友人や家族から喜ばれた！という声をいただきました。

これからも簡単なのにおいしい料理を紹介できるよう教室を企画していきます。

料理の世界 「めでたいにあやかりタイ」

栄養課調理師 奥野 将徳

一富士二鷹三茄子。昔から初夢で見ると縁起が良いといわれているものですね。日本人は縁起を良く担ぎ、プリアススキなど成長すると名前の変わる魚を出世魚と呼ぶのもそうです。そして誰でも知っている縁起の良い魚といえばタイ。めでたいなどと語呂合わせの感もありますが、鮮度抜群の天然のタイを見ると魚の王様と呼ばれるだけあって惚れ惚れするほど立派で神々しさを感じます。

タイにはたくさん種類があり、有名なところではキンメダイやアマダイです。これらはタイとは縁もゆかりもない魚で「タイの名声にあやかりタイ」のかも…。本物のタイというのはマダイのことで、マダイはさっぱりとした淡白な味が特徴なので、やっぱり刺身がいちばんです。タイはDHAやEPAの含有量は少なめですが、胃液の分泌を促すビタミンB1が多く、胃液の調子を整えてくれるので疲れ気味の時の食事にぴったりです。

旬は冬から春。一年の門出の正月に、そして、桜の咲く頃新しい門出を祝い、桜鯛をかみしめてみてはいかがでしょうか。




+ 松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。